

# 農福連携における農作業委託への 疑問や不安にお答えします。



## 農福連携ってなに？

障害者等が農業分野で活躍することを通じ、自信や生きがいを持って社会参画を実現していく取組です。

## 農福連携推進の目的は？

障害者等の就労や生きがいづくりの場を生み出すだけでなく、担い手不足や高齢化が進む農業分野において、新たな働き手の確保につながる可能性もあり、農業と福祉の双方が抱える課題の解決につながります。

## 農福連携の方法は？

愛知県では、「農福連携相談窓口」を設置し、農業経営体や障害者就労施設などからの相談に対応するとともに、施設外就労による農作業の請負を支援しています。

### 「愛知県農福連携相談窓口」の主な業務（施設外就労の定着化支援）

- ◆ 農業経営体や障害者就労施設等の意向把握
- ◆ 農業経営体と障害者就労施設のマッチング
- ◆ 障害のある方が農作業に取り組むための支援

※「施設外就労」とは、障害のある方と障害者就労施設の職業指導員さんがユニットを組み、請け負った作業を現地で行う活動のことです。

障がいのある方個人と雇用契約を結ぶわけではありませんので農業者は社会保険等へ加入する必要はありません。また作業報酬は、作業量や内容に応じて障害者就労施設へ支払います。



障害のある方に適した仕事はどんなこと？



施設外就労による農作業の請負では、障害のある方と障害者就労施設の職業指導員さんがユニットを組み、グループ単位で農作業に取り組むのが一般的です。可能な仕事は草取りや出荷調整、定植作業など、多岐にわたります。また、品目も花き、野菜、果樹、作物、畜産など様々考えられます。

一見難しい農作業も、作業の行程を分解して分かりやすくすることで、障がいのある方でも取り組めるようになることがあります。



障害のある方の事故やケガが心配！？



障害者就労施設の職業指導員さんが利用者（障害のある方）の作業に付き添い、仕事が完了することを見届けます。職業指導員さんと事前に打ち合わせを行って危険無く作業ができるよう工夫します。また、万一に備え、多くの障害者就労施設は傷害保険等に加入しています。ご確認ください。

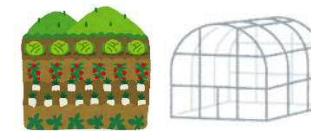


障害のある方とのかかわり方がわからない？



施設外就労による農作業の請負では、農業者は障害者就労施設の職業指導員さんに作業指示を行うこととなります。利用者への作業指導は職業指導員さんに全てお任せできますので安心して農作業をお願いできます。

### 施設外就労のイメージ



農業経営体

### 施設外就労の請負契約

### 作業の実施

草取り、出荷調整、定植作業など



障害者就労施設

### 作業報酬

- 共に農作業に取り組む働き手として障害のある方に期待
- 障害のある方の就労機会を創出し社会的要請にも貢献

農業分野と福祉分野の連携

- 農作業への従事を通じて体力増強や精神面での訓練につながる
- 農業分野で活躍することを通じて自信や生きがいを持てる

【お問い合わせ先】

・ 愛知県農業水産局農業経営課

〒460-8501 名古屋市中区三の丸 3-1-2 電話 052-954-6409



# 障害のある方は いろいろな農作業に携わっています！



ほうれん草の収穫  
(北海道)

【困っていたことは？】

収穫が集中して作業が遅れる。

【お願いした作業は？】

- ①ハサミで根を切り収穫する。
  - ②土や余計な葉を取りコンテナに入れる。
  - ③作業場で計量して袋詰めする。
- 【ポイント？】  
生育に合わせて月単位で契約した。



高設栽培イチゴの親株片付け  
(栃木県)

【困っていたことは？】

手作業のため作業が遅れる。

【お願いした作業は？】

- ①親株を引き抜き、培土撤去する。
  - ②親株や培土を集めて一輪車に乗せ、軽トラックに積み込む。
- 【ポイント？】  
障害者施設の職員との打ち合わせで不安が解消した。



ネギ畑の除草  
(鳥取県)

【困っていたことは？】

除草は人手がかかる作業だった。

【お願いした作業は？】

- ①雑草をハサミや手で取り除く。
  - ②一輪車で畑の外へ運び出す。
- 【ポイント？】  
雑草に合わせて、作業道具や方法を変え、疲れないように工夫した。



里芋のケバとり  
(岐阜県)

【困っていたことは？】

手間がかかり、規模拡大できない。

【お願いした作業は？】

- ①里芋のケバを手で取る。
  - ②大きさや形で選別し、袋に詰める
- 【ポイント？】  
空ハウスを作業場として活用。他作業にあてる時間が増えた。



## あるイチゴ農家さんでの 施設外就労の一日



作業  
確認

9:50~10:00

- ・障害者就労施設の職業指導員さんと障害のある方が車で来訪する。
- ・始業のあいさつ。職業指導員さんと作業内容を確認する。

作業

10:00~11:00

- ・職業指導員さんから指示を受け、障害のある方が親株と培土を取り除く。

休憩

11:00~11:10

- ・午前の休憩（手洗い、腰掛用意、持参の飲み物で水分補給）

作業

11:10~12:10

- ・引き続き、親株と培土を取り除く。

昼食

12:10~13:10

- ・昼食と休憩のため、障害者就労施設に戻る。

作業

13:10~14:20

- ・午前中に撤去した親株と培土を軽トラックに積み込む。

休憩

14:20~14:30

- ・午後の休憩（手洗い、腰掛用意、持参の飲み物で水分補給）

作業

14:30~15:40

- ・引き続き、軽トラックに積み込む。

作業  
確認

15:40~15:50

- ・農家さんと職業指導員さんとで作業の出来具合を確認する。
- ・終業のあいさつ。



### 農家の声

#### ポイント



- 作業時間は職業指導員さんと相談が必要でした。早朝や夜間など、お願いできない時間帯もあります。
- 農作業の内容は、職業指導員さんが障害のある方に教えてくれますので、職業指導員さんに、「〇個」や「この目印まで」などと分かりやすく説明し、理解してもらうことが大切でした。
- 障害のある方は、「疲れた」と意思表示することが難しいようです。休憩を取ってもらうために休憩場所も工夫し、短い時間でも体を休めるようしました。
- 農家が「怒ったり」「急かしたり」することは、障害のある方の心を不安定にさせてしまうようです。余裕を持った作業スケジュールで仕事をお願いしました。

### 障害者就労施設の声



- 事前の打ち合わせで、作業の方法や荷物の動かし方などを十分に確認ができ、不安なく作業ができました。
- 余裕をもって作業期間が設定されていたので、天候や障害のある方の体調に合わせて作業を行うことができました。
- 休憩場所としてハウスの片隅に日覆いとコンテナの椅子を用意していただきました。手洗いもできて、障害のある方はゆっくり休憩できました。
- 雨天で作業が急遽中止となった日でも、迅速に連絡をいただいで、支障なくスケジュールを変更できました。
- 作業現場までは車で約10分の距離でした。移動にかかる時間が少なく、障害のある方への負担も少なくすみました。

